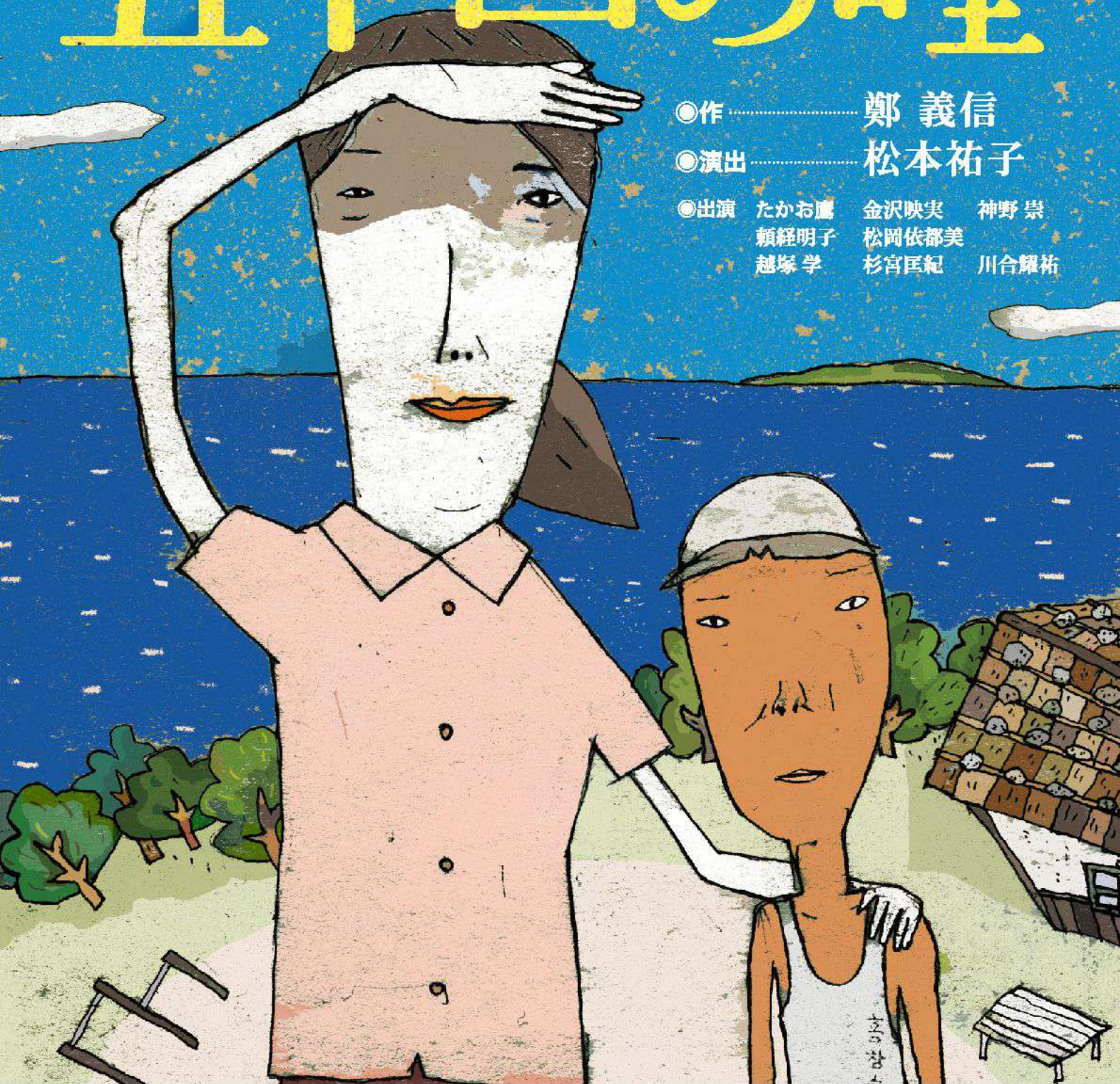


文学座公演

五十四の瞳

●作……………鄭 義信
●演出……………松本祐子
●出演 たかお鷹 金沢映実 神野 崇
頼経明子 松岡依都美
越塚 学 杉宮匡紀 川合輝祐



可児市文化創造センター ala 小劇場

2023年9月8日 [金] 18:30 開演 / 9日 [土] 14:00 開演

主催：公益財団法人可児市文化芸術振興財団

文学座公演

五十四の瞳

●作……鄭義信 ●演出……松本祐子

あらすじ

舞台は戦後間もないころの瀬戸内海に浮かぶ小さな島。採石業が唯一の産業であるこの島には学校が一つしかなく、それは朝鮮人学校であった。柳仁哲(ユ・インチョル)と新しく赴任した何やら訳ありな女性教師、康春花(カン・チュンファ)の下、日本人も朝鮮人も分け隔てなく学んでいた。しかしある日、占領軍(GHQ)が全国の朝鮮人学校閉鎖を宣言する。これに対し大阪や神戸で大規模な抗議デモが巻き起こった。このままでは俺たちの学校もなくなってしまう！少年たちは神戸の抗議デモに参加するため、親や先生に内緒で島を飛び出していくのだった……。

●出演



たかお 鷹



金沢 映実



神野 崇



頼 経明子



松岡 依都美



越塚 学



杉宮 匡紀



川合 耀祐
(可見市出身)

●スタッフ

美術	乗峯 雅寛	演出補	インディー・チャン
照明	賀澤 礼子	制作	前田 麻登
音楽	芳垣 安洋	宣伝美術	伊波 二郎 (イラスト)
	高良 久美子		小田 善久 (デザイン)
音響	丸田 裕也	舞台写真	宮川 舞子
衣裳	宮本 宣子		
舞台監督	加瀬 幸恵		
	寺田 修		

時代に翻弄されながらも逞しく生きる

日本と朝鮮、二つの人種の狭間で懸命に生きる人々を描き、主演の松岡依都美が第55回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞するなど、大きな反響を呼んだ話題作。激しくも温かい人間を描く鄭義信の、愛に溢れる物語。



可見市文化創造センター ala 小劇場

2023年9月8日(金) 18:30 開演 / 9日(土) 14:00 開演

※開場は開演の30分前 ※終演後、アフタートークを行います

全席指定

一般 5,000円 / 25才以下 2,500円

※未就学児入場不可

発売日 2023年6月17日(土) 9:00

※電話予約は翌18日(日) 9:00

(チケット取り扱い)

可见市文化創造センター・インフォメーション

Tel.0574-60-3050

9:00 ~ 19:00 / 火曜休館、祝日の場合は翌平日休み



インターネット予約 WEBページ 2023年6月17日(土) 9:00

※割引サービスの詳細はアーラホームページをご覧ください。

<https://www.s2.e-get.jp/kpac/pt/>

※チケット販売システム Get!! のページです。

※アーラフレンドシップへの登録(無料)が必要となります。

〈お問い合わせ〉

可见市文化創造センター ala

〒509-0203 岐阜県可见市下庫土3433-139

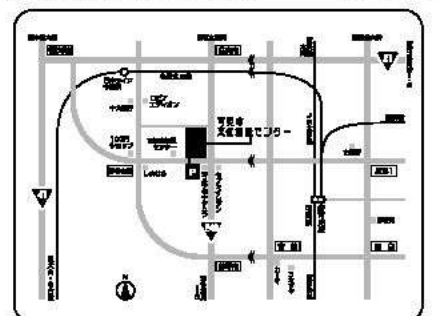
URL <https://www.kpac.or.jp>

TEL.0574-60-3311 (9:00~22:30)

火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み

kpacalala

@kani_ala



【交通アクセス】

■名古屋古原駅より50分・日本ライン今渡駅下車、徒歩10分

■JR名古屋駅より50分・可见駅下車、タクシー10分

■東海環状自動車道 可见・御嵩ICから15分

■中央自動車道 多治見ICから・国道248号線経由で20分



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会